

※ 1 枚ずつお取りください。

川上校区 公民館だより

第154号

発行 佐賀市立川上公民館 TEL (62) 5775 FAX (62) 5775
E-mail : kkawakami@city.saga.lg.jp

川上のアオバスク

令和7年(2025年)5月

佐賀市の人口 225,700人

川上校区の人口 5,756人

川上校区の世帯数 2,269世帯【令和7年3月末現在】



第78回 川上小卒業式 3月14日(金) 卒業生54名



6年間過ごした学び舎を後にしました

令和7年度 川上校区公民館 運営方針

- (1) 子どもから高齢者まで幅広い世代の学習ニーズに応えられる公民館事業の充実
- (2) 地域課題解決のためにまちづくりへの積極的な支援
- (3) 地域住民への情報発信力を高めることで情報の共有化を図る
- (4) 協働や共助による地域コミュニティの形成で活力と連帯力を高める



「土砂災害特別警戒区域パトロール及び 洪水氾濫想定区域救助訓練」を実施します



1. 土砂災害特別警戒区域パトロール

実施日時：令和7年6月8日(日) 8時30分～11時45分 集合時間：各集合場所10分前

実施自治会	集 合 場 所	実 施 時 間
川上	與止日女神社駐車場	08時30分～09時10分
水上・西山田・小隈	犀の隈堤	09時15分～09時55分
大願寺	大願寺公民館	10時00分～10時40分
今山・横馬場・西野	横馬場自治会公園	10時50分～11時45分

2. 土砂災害ハザードマップを活用し、各地区の危険箇所点検と避難経路の確認を行う。

3. 洪水氾濫想定区域救助訓練

実施日時：令和7年6月22日(日) 9時00分～11時30分



実施自治会	集 合 場 所	救 助 訓 練 内 容
川上・東山田・サングリーン・ クロバー・立石・平野・平田・ 下戸田・上戸田・於保・佐保・ 植田・池上・久留間	惣座橋下(嘉瀬川右岸上流) ※訓練参加者は8時50分まで に受付を終了する。	嘉瀬川右岸頭首工上流付近で自主 防災会所有の救命用ゴムボート 6隻を使用し、操作手順と実際の 救助活動を行う。

4. 確認点検

- ①洪水ハザードマップを活用し、浸水の目安及び堤防決壊に伴う氾濫流で木造家屋の倒壊の恐れを想定した面的確認。
- ②ゴムボートの操作手順の確認。(排水機場4力所の操作員参加も)
- ③ゴムボート一隻に救助者(大人・子ども)2名～3名を想定。救命胴衣、反射ベストの着用。

5. 防災用資器材の展示

救命胴衣、反射ベスト、発電機、トランシーバー、水中ポンプ、コードリール、投光器2灯、ヘルメット、三角コーン、本部テント3張、荷重プレート、炊き出し用調理器具(かまどセット)

6. 実施主体(全6団体)

自主防災会本部、単位自主防災会(自治会)、校区公民館、まち協、女性部、消防団(4・5分団)

7. 一般住民の方の参加を歓迎します。詳しくは校区公民館までお問い合わせください。



過年度の土砂災害警戒区域パトロールの様子



過年度の洪水氾濫想定区域救助訓練の様子

※詳細については、川上校区公民館(Tel62-5775)に問い合わせ下さい。

公民館主催講座募集のお知らせ



世界遺産「明治日本の産業革命遺産」 登録10周年パネル展・講演会を開催します



安政4(1857)年に佐賀藩が独自に海軍技術の教練を行っていったことが三重津海軍所の始まりと言われています。調練場などさまざまな施設が整備され、単なる伝習所としてだけでなく、蒸気船の製造などを目指したことで国内屈指の海軍力を誇りました。これらの歴史に残した役割などを興味深く詳しく解説していただきます。また、同時にパネル展も開催しますので、より多くの方にこの世界遺産のことを知っていただくために是非参加いただければと思っています。

<講演会>

日 時：6月4日(水) 10:00~11:30
場 所：川上校区公民館
定 員：60名(先着順) 参加費：無 料
申込締切：5月30日(金)
講 師：佐賀市 地域振興部 歴史・文化課職員

<パネル展>

展示期間：6月2日(月)~6月9日(月)



三重津海軍所跡全景



ドライドックの木組遺構



三重津海軍所跡展示パネル
【公民館主催】



三重津海軍所跡歴史館の原寸
大模型や大型スクリーン映像



花とみどりを楽しむ「寄せ植え教室」を開催します



日 時：6月11日(水) 10:00~11:30
場 所：川上校区公民館
定 員：15名(先着順) 参加費：1,200円
申込締切：6月6日(金)
講 師：佐賀市みどりのカウンセラー 中川達也氏
持 参 品：軍手・移植ゴテ・筆記具・鉢を持ち帰る袋
※花や緑で癒され自然の季節変化を楽しんでいただけるもの
と思います。是非皆さんの参加をお待ちしています。



写真は過年度の様子
【公民館主催】

公民館主催・共催講座等の報告

趣味の世界を作る色鉛筆画教室（大人のぬり絵）を開催しました

3回シリーズで、二科展デザイン部大賞ほか受賞歴多数をお持ちの鉛筆画家馬場崎明子さんを講師に、主催講座「色鉛筆画教室」を開催しました。定員の10名が参加し、テーマである「チューリップ」に挑戦しました。ほとんどの方が初めてということもあり、1色の色鉛筆で濃さを変えながら7段階に塗り分けていく練習からスタート。回を重ねるうちに滑らかに。用紙に描かれた線が徐々に立体感を持ち始め、生き生きとしたチューリップに変わっていききました。最終回には全員が素晴らしい作品を完成させました。講師からは「想像以上の出来栄に驚きました。」、参加者からは「奥が深くとても楽しかった」との感想が聞かれました。4月からサークルとして活動されることになりました。

【於：川上校区公民館 2月20日(木)、27日(木)、3月6日(木) 受講者10名 公民館主催】



全員が休憩も取らずに真剣に



先生からの確かなアドバイスを



一人一人の作品が完成しました



全員で集合写真に納まりました

大規模地震が発生したとの想定で住民参加の避難訓練を実施しました

令和7年2月23日(日)午前8時に佐賀市の防災無線からの呼びかけで始まった川上校区の避難訓練は、1次訓練(一般住民及び要配慮者の避難)と2次訓練(単位自主防災会の自主性に任せた訓練)に分けて実施しました。本部で組織された検証員30名が各自治会の一時避難所に出向き、訓練の様子を検証しました。

また、佐賀市消防団大和支団(第4・5分団)分団長指揮のもと、住民への避難の呼び掛けと被災想定報告を無線で川上校区公民館に設置された防災会本部とやり取りを行いました。

最後に公民館駐車場に関係者が集し、佐賀市危機管理防災課より、訓練の講評を頂き終了しました。単位自主防災会によっては、災害への備えに対する意識、認識にまだまだ温度差があり、今後の課題となっていますが、毎年繰り返し訓練を行うことで、住民意識を高めて行ければと思っています。

1次訓練＜高齢者等（要配慮者）避難支援カードで家庭訪問による安否確認と避難誘導訓練
住民への避難呼び掛けと避難者の把握とインフラ及び建物の被災を想定した訓練＞

2次訓練＜消火訓練、炊き出し訓練、救出・救護訓練、防災講和、災害時の手順など＞
参加総数＜887名 防災会本部・単位自主防災会・校区公民館・消防団大和支団（第4・5分団）
まちづくり協議会・自治会女性部・校区社会福祉協議会＞

地震発生を想定しての住民参加の一次避難訓練のイメージ図



広報および被災状況想定報告の内容

③ 巡回中
避難訓練。避難訓練。こちらは佐賀市消防団です。
たまたま佐賀市で大規模地震が発生しました。
住民は安全な場所に避難するとともに、命を守る最善の行動をとってください。

④ 被災状況報告
第1分団第0部。〇〇から本部〇〇副団長へ
〇時〇分。〇〇自治会。〇〇で〇〇が発生
消防団は。〇〇の対応をとります。以上

分団	自治会名	場所	被災状況想定	対応
1	川上	上止目女神社	道路全半壊、ブロック塀の倒壊・火災	鎮火活動
2	水	上止目	土砂崩れ・火災	土のう設置
3	西	山田	道路2か所に亀裂発生により通行不能・道路全半壊	避難誘導
4	小	田	生活道路陥没・市道・生活道路通行不能	コーン設置
5	大	田	土砂崩れ・火災・市道・生活道路通行不能	コーン設置
6	大	田	道路全半壊・ブロック塀の倒壊・火災発生	鎮火活動
7	下	田	道路全半壊・ブロック塀の倒壊・火災発生	鎮火活動
8	上	田	道路全半壊・市道・生活道路通行不能	交通誘導
9	立	石	道路全半壊・市道・生活道路通行不能	交通誘導
10	東	山	道路全半壊・市道・生活道路通行不能	交通誘導
11	平	野	道路全半壊・市道・生活道路通行不能	交通誘導
12	平	野	道路全半壊・市道・生活道路通行不能	交通誘導
13	ナ	グ	道路全半壊・市道・生活道路通行不能	交通誘導
14	カ	ナ	道路全半壊・市道・生活道路通行不能	交通誘導
15	横	田	道路全半壊・市道・生活道路通行不能	交通誘導
16	上	田	道路全半壊・市道・生活道路通行不能	交通誘導
17	横	田	道路全半壊・市道・生活道路通行不能	交通誘導
18	上	田	道路全半壊・市道・生活道路通行不能	交通誘導
19	上	田	道路全半壊・市道・生活道路通行不能	交通誘導
20	上	田	道路全半壊・市道・生活道路通行不能	交通誘導

川上校区自主防災会本部 被災状況報告聞き取り表

本部：川上校区公民館 Tel/Fax 62-5775 E-mail: kikagami@city.saga.lg.jp
大和支所（総務・地域振興グループ） 62-1111 佐賀市役所 危機管理防災課 40-7034
佐賀広域消防団 30-0111 令和7年2月23日（日）大規模地震を想定した住民参加の避難訓練

被災自治会名： 報告時刻： 報告者：4・5分団

被災場所（わかりやすく目印となるような場所を特定して報告）

被災状況

報告を受けた者 上部機関への報告時刻

緊急を要する事項の要請（人命・火災等）は、直接消防車から（積載車）消防・警察に要請を行い、事後にその旨を自主防災会本部に報告する。

被災自治会名： 報告時刻： 報告者：4・5分団

被災場所（わかりやすく目印となるような場所を特定して報告）

被災状況



訓練に向けた防災会合同会議



訓練を検証するための会議



4・5分団出発前の分団長訓示



避難呼び掛けと情報収集に出発



被災状況を無線で本部へ報告



聞き取り表に正確に記載します



合同本部で被災状況を集約し佐賀市へ報告の手順を確認



＜水上＞一次訓練参加率86%（住民・要配慮者の避難）



＜水上＞二次訓練（民家の倉庫を借りて炊き出し）



＜西野＞一次訓練 参加率88%



二次 非常用品点検・防災食試食



＜立石＞一次 参加率14%



二次 災害全般を消防署から



＜サングリーン＞一次 参加率10% 二次 消火器の取り扱い



最後は危機管理防災課の竹下係長より訓練の講評で終了





川上小学校の1年生が地域の人と昔遊びに興じました



昔は今のようにゲームなどではなく、集まった人数、場所で、みんなが一緒に遊べる工夫をしていました。今に繋ぐ伝承昔遊びを地域の人（民生委員・児童委員、まち協、校区社協）15人が（けん玉、ダルマ落とし、お手玉、コマ回し、羽根つき、竹とんぼ、紙飛行機）昔遊んだ経験を活かして、遊び方を教えてくれました。子どもたちは、初めての体験に悪戦苦闘しながらも遊びに夢中になっていました。地域の人も童心に返り、子どもたちとひと時を楽しく過ごしました。【取材日1月21日（火）】



地域の人との対面です



みんなで校歌を斉唱しました



空高く揚がった凧は楽しかった



竹とんぼも楽しかったです



親子料理教室（子育て部会）で「オムライス」に挑戦



地元川上の横尾シェフから、「オムライス」の作り方を教わりました。ご家庭でもプロの味に近づける隠し味、作り技などを親子で楽しく教わりました。参加した保護者からは「子どもと美味しい料理を作ることができて楽しかった。プロから教わることができ充実した時間だった」などの感想が聞かれました。【於：川上校区公民館 2月9日（日）参加者8組24名 まち協子育て部会主催】



包丁の使い方など教わりました



味を付けて最後の仕上げです



とろっとオムライスの出来上り



全員で写真に納まりました



川上校区社会福祉協議会理事バス視察研修の報告



川上校区社会福祉協議会理事のメンバーで、久留米市の安武社会福祉協議会を訪問しました。

川上校区と同規模の安武校区の概要と年間活動について説明を受け、中でも、「80歳記念写真撮影会」、「高齢者が家庭菜園で育てた野菜販売会」などの取り組みに興味深く聞くことが出来ました。また、川上校区（松崎逸夫会長）からは川上絆の会（高齢者の移動支援サービス）の活動についての話に大変興味を持たれていた様子でした。限られた時間での意見交換でしたが、大変有意義で参考になる視察研修ができたのではと思っています。



視察研修の様子です

【2月18日（火）川上社会福祉協議会15名 安武社会福祉協議会10名】



川上小の児童たちが「ありがとう集会」に手作りの招待状と感謝状



2月27日（木）川上小体育館で地域の人に感謝の気持ちを伝えるために「地域の方ありがとう集会」を川上小の児童たちが開催しました。招待状を持って参加した地域の人に感謝状を手渡ししてお礼を伝えました。この「ありがとう集会」には、学校と地域が一体となって取り組んでいる学校運営協議会・朝のあいさつ運動・読み聞かせグループ・公民館など16の個人や団体から45名の参加がありました。

また、全児童による歌、「川上っ子まなざしソング」（吉田まりか前校長先生作詞、作曲）を初披露していただきました。最後に会場みなさんと一緒に「ふるさと」を斉唱しました。川上小児童のみなさん素晴らしい「ありがとう集会」に招待していただき、本当にありがとうございました。



手作りの招待状と感謝状



手作りアーチで出迎えてくれました



地域の方45名が参加しました



ワンちゃんにも感謝状とメダル